

グローバルに成長する

伊藤忠商事シリコンバレー事務所

松浦 涼平(高校65期)

出身:東京都八王子市
2013年立川高校卒業
2018年東京工業大学生命理工学部卒業
2020年東京工業大学生命理工学院卒業
2020年伊藤忠商事株式会社新卒入社
2023年米国公認会計士登録



■高校時代



立高野球部時代

立川高校を選んだ理由は、中学生の時に訪問した学祭等で自由闊達の雰囲気を感じられ、自分のペースで学生生活を過ごすことができると思ったからです。立高生活を表現するならば、野球の一言につきます。中学も野球部だったのでその流れで高校も野球部に所属しましたが、レベルが高く大変でした。正直勉強はほとんどしていませんでしたが、部活で培った体力と忍耐力は高校卒業後の人生で大きくプラスになっております。

■卒業後からこれまで

再生医療や医薬品研究に興味があり、東工大の生命系に進学しました。社会人になる前の最後の期間ということで、色々なコミュニティに所属して経験を積むことができました。アルバイトは、塾講師やアパレル、部活動サークルは野球やスキーなどに所属しました。大学院では自分の第一希望の研究室に配属でき、自分の好きな研究を学部4年生から修士2年生まで3年間行うことができました。当初は製薬メーカーの研究職を志していましたが、就職活動を通じて本当にそれで良いのか疑問が出てきました。自分の性格的に一つのことに集中するよりも、多くのことを満遍なく学ぶ方が合っている点、グローバルに働きたい点から商社志望に変更しました。また、理系の専門的な知識を持ちつつ、経営や投資を通じて事業を行うことで付加価値をより出せるのではという考えを持ちました。その後第一志望であった商社に入社できました。入社後は、大学時代の専門性が活かせるヘルスケアの部隊に配属され、医療機器、製薬、病院経営など経験させていただきました。

また、2022年にはグローバルかつ専門的なスキルを身に着けたいという理由で米国公認会計士の資格を取得しました。そして、今年度から米国つながりでシリコンバレー事務所に駐在となり、ベンチャー投資関連業務に携わっております。ヘルスケアだけでなくITや半導体など素晴らしい技術が西海岸に集中しており、充実した日々を過ごしております。今後の目標としては、グローバルな視点で日本経済に貢献できるような事業開発や投資を実行したいと考えています。



駐在地での野球観戦(ドジャース対ジャイアンツ)

■立高生に向けて

高校生活は自分のやりたいことを精一杯やるのが一番良いと思います。部活動でも勉学でも将来的には必ずプラスになると思います。また、長期的な目線で考えた場合、日本の市場規模が小さくなっている中、メーカー、商社、金融などほとんど全ての業界で海外でのビジネスが重要になっております。立高での経験を活かして世界に羽ばたいていくことを期待しております。